

美祢市社会福祉協議会合併10周年記念 ～夢と感動の映画上映会～

今年度、美祢市社会福祉協議会は、合併10周年を迎えることとなりました。
これまで美祢市社会福祉協議会を支えて頂いた多くの方々に感謝の気持ちを伝えるため、
「夢と感動の映画上映会」を開催します。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご来館ください。

北の桜守 8年越しの花嫁



©2018「北の桜守」製作委員会



©2017映画「8年越しの花嫁」製作委員会

リメンバー・ミー



©2018 Disney/Pixar. All Rights Reserved

2018年

7月14日(土)

①10:00 北の桜守 ②13:30 8年越しの花嫁
③16:00 北の桜守 ④18:30 8年越しの花嫁

2018年

7月15日(日)

①10:00 ②13:30

会場

美祢市民会館 大ホール

チケット販売窓口

・美祢市社協(各地域福祉センター)・市内各公民館

チケット

一般 1,000円(当日1,200円)

高校生以下 500円(当日 600円)

高校生～3才

※チケット1枚で上記上映時間の何れか1作品をご覧ください。全作品入替制

主催

美祢市社会福祉協議会合併10周年記念事業実行委員会

【お問合せ】美祢市社会福祉協議会 TEL:0837-52-5222

美祿市社会福祉協議会合併10周年記念 ～夢と感動の映画上映会～

2018年7月14日(土)

北の桜守



『北の零年』(05)、『北のカタリナたち』(12)に続く、
“北の三部作”最終章を飾る一大巨編。

1945年5月、南樺太に住む江蓮(えづれ)家の庭に待望の桜が花開いた。夫と息子たちと暮らす江蓮(えづれ)が大切に育てたその花は、やがて家族の約束となる。
しかし8月、本土が終戦に向かう中、樺太にはソ連軍が迫っていた。樺太に残る夫との再会を約束し、てつは二人の息子を連れて網走へと逃げ延びる。
時は流れ1971年、次男の修二郎はアメリカに渡って成功し、米国企業の日本社長として帰国する。15年ぶりに網走へ母を訪ねると、そこには年老いたてつの姿があった。一人暮らしが心もとなく思えるその様子に、再び母と共に暮らす決意を固める修二郎。しかし想いあうがゆえに母子はすれ違いを重ね、立派になった修二郎に迷惑をかけたくないと、てつは一人網走に戻ろうとする。
母に寄り添いたいと願う修二郎は、二人で北海道の各地を巡り、共に過ごした記憶を拾い集めるように旅を始める。再会を誓った家族への想い。寒さと貧しさに耐え、懸命に生き抜いた親子の記憶。戦後の苦難を共にした懐かしく温かい人々との再会。幸せとは、記憶とは、そして親子とは。そして満開の桜の下で明かされる、衝撃の結末――

8年越しの花嫁



本当にあった、最高の奇跡。

結婚式の直前、意識不明となった花嫁を、新郎は待ち続けた――
実話から生まれた、8年間の奇跡のラブストーリー

結婚を約束したカップル、尚志(佐藤健)と麻衣(土屋太鳳)。
結婚式を間近に控え幸せ絶頂だったある日、原因不明の病が突然麻衣を襲い、意識不明となってしまう。いつ目が覚めるかわからない状態に、麻衣の両親(薬師丸ひろ子、杉本哲太)からは「もう麻衣のことは忘れてほしい」と言われるが、尚志は諦めず麻衣の側で回復を祈り続ける。
長い年月の末、ようやく麻衣は目を覚ますが、さらなる試練が二人を待ち受けていた。
そして二人が結婚を約束してから8年、ついに最高の奇跡が訪れる――

2018年7月15日(日)

リメンバー・ミー



それは、時を越えて家族をつなぐ、奇跡の歌。

主人公は、ミュージシャンを夢見る、ギターの手才少年ミゲル。しかし、厳格な《家族の掟》によって、ギターを弾くどころか音楽を聴くことすら禁じられていた…。
ある日、ミゲルは古い家族写真をきっかけに、自分のひいひいおじいちゃんが伝説のミュージシャン、デラクルスではないかと推測。彼のお墓に忍び込み美しいギターを手にした、その瞬間――先祖たちが暮らす“死者の国”に迷い込んでしまった！
そこは、夢のように美しく、ガイコツたちが楽しく暮らすテーマパークのような世界。しかし、日の出までに元の世界に帰らないと、ミゲルの体は消え、永遠に家族と会えなくなってしまう…。
唯一の頼りは、家族に会いたいと願う、陽気だけど孤独なガイコツのヘクター。だが、彼にも「生きている家族に忘れられると、死者の国からも存在が消える」という運命が待ち受けていた…。
絶体絶命のふたりと家族をつなぐ唯一の鍵は、ミゲルが大好きな曲、“リメンバー・ミー”。
不思議な力を秘めたこの曲が、時を超えていま奇跡を巻き起こす！